

現代民俗学会 2009年度第3回運営委員会 議事録

日時：2009年11月14日 17:15～18:00

場所：お茶の水女子大学大学本館 2階 209教室

出席：石本、及川、岡田、菅、塚原、徳丸、古家、渡部

1. 研究会

（1）研究会の定例化について

次年度以降の研究会について、年次大会は5月、研究会は夏季（7月）・秋季（9月）・冬季（11月中旬～12月中旬）・春季（3月）の4回として定例化することを決定した。実行委員の体制、企画の審議・告知のタイミング等を盛り込んだ、研究会開催についての「申し合わせ」案が提示され、提案のとおり決定した。

（2）2010年度年次大会について

5月の年次大会は、徳丸委員が担当することが報告された。あわせて石本・武井・塚原・渡部各氏に実行委員の依頼があり、了承された。今後、期日の確定や会場の確保、内容の検討を進める。

（3）2009年度の今後の研究会開催について

第4回研究会（1月23日、ドロシー・ノイズ氏の講演）は菅委員を中心に準備中であることが報告された。

第5回研究会（80年代学史について）は準備中であり、一部の登壇者の内諾を得ていることが報告された。なお2010年度夏季研究会（第6回研究会）までが事実上現在の委員の担当となるので、実行委員を今後検討することとされた。

2. 編集

『現代民俗学研究』第2号の投稿状況について報告された。査読者は決定済みであり、来週には発送を開始することが報告された。

また、第2号に関する「査読方針」・「査読方法」の案が提示され、査読方法の一部文言の修正の上、了承された。また査読講評のフォーマット等についても意見が交わされた。

3. 会計

(1) 新入会者について

前回委員会後のメール審議により、一般3名、学生1名の新入会員を承認していることが報告された。あわせて一般会員1名の入会を承認した。これにより現在の会員数は122名となった。

(2) 会計の経過報告

2009年度会計について経過が報告され、とくに日本民俗学会年会における雑誌売り上げの好調であったことが伝えられた。雑誌の在庫数についても報告された。

4. 庶務

(1) 雑誌の寄贈について

大学図書館等への雑誌寄贈について、寄贈先リストを前回委員会の検討をふまえて修正の上、55機関に発送を完了したことが報告された。

(2) 庶務・事務局の増員

後藤委員を庶務担当に加えること、田村真実氏（筑波大学大学院生）を事務局に加えることが報告された。

(3) Webの更新について

全体的なデザインを修正したこと、あらたに創刊号の英文要旨と巻頭言を掲載したことが報告された。キーワードについて、2号の論文採択者には英語・日本語両方の提出を求めることとなった。

以上